

公益財団法人ベネッセこども基金
2021年度経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成 申請書

事務局記入	
受付日	
No.	

黄色いセル： 入力用 青いセル： 入力不要 ※セル内で改行する場合は、[ALT]+[Enter]キーを押す

【1】貴団体について						
1. 団体名(代表名)	団体種別/法人格	クリックして選択	その他を選んだ場合は記載			
	ふりがな	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p>赤文字： 記入内容の説明</p> <p>青文字： 記入見本</p> </div>				
	団体名称					
	ふりがな					
	代表者名					
役職						
2. 代表者略歴	<p>職歴や申請団体との関係、他団体等での兼職する役職や受賞歴、著書などを記入</p>					<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p>右欄の文字数以内で記入（全角）</p> <p>※セルを広げずに枠内で記入</p> </div>
3. 団体住所/連絡先	郵便番号					
	都道府県名					
	市区町村・丁目番地					
	建物名など					
	代表電話番号					
	代表E-mail					
	団体サイト(URL)					
	団体Facebook(URL)					
その他・団体SNSなど						
4. 担当者/連絡先	ふりがな					
	担当者名					
	担当者電話番号					
	担当者E-mail					
※担当者の発送物受け取り場所が 団体住所と異なる場合のみ記載	郵便番号					
	担当者住所					
5. 団体情報	職員数	常勤：		人	非常勤：	
	ボランティア数	有償：		人	無償：	
	昨年度収入計	直近の会計年度で実績の確定した数値を記入				円
	体制・組織図 ※別添も可					
6. 団体沿革 ※設立のきっかけ、 現在に至る経緯など	<p>申請事業以前に行っていた事業内容を経年で記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ●●年～：九九ができない中学生と出会ったことをきっかけに、●●市にて低額の学習支援教室事業を開始 ●●年～：2教室目の立ち上げをきっかけに団体サイトを作成。近隣の大学生や社会人ボランティアの募集を開始 ●●年～：NPO法人を取得。市からひとり親などの就学援助対象の子どもの紹介を受け、無償での学習支援事業を開始 ●●年～：中学3年生を対象にPCとWi-Fi機器を貸与して自宅との遠隔学習を開始 					
7. 団体が目指していること (ビジョン・ミッション)	<p><ビジョン> すべての子どもたちが、自ら可能性を広げられる社会を作る</p> <p><ミッション> 私たちは……………</p>					

【2】貴団体の事業について			
1. 団体事業 子ども支援領域 の事業 ※ない場合は 記載不要	事業①	事業名	経済的困窮世帯向けの拠点型学習支援(小・中学生向け)
		対象(地域/年齢)	地域: ●●県●●市 ●●地域/●●地域 年齢(学齢): 小学5年生～中学3年生
		事業内容(概要)	●●市の2拠点にて、経済的な理由で塾などに通えない子向けに学習会を開催している。家庭の収入格差がそのまま教育格差につながってしまっている課題に対して、すべての生徒が公立高校に合格することがゴール。近隣の大学の学生ボランティアを中心に、学習習慣づけをメインに取り組んでいる。
		実績(成果)	・現在、2拠点あわせて、小学生●名、中学生●名が通う。昨年度は中3卒業生の●名全員が高校に進学。 ・市教委の事例資料に掲載(学力低下を予防するセーフティネットとしての評価)
	事業②	事業名	経済的困窮世帯向けのオンライン学習支援(中学3年生の希望者向け)
		対象(地域/年齢)	地域: ●●県●●市 ●●地域/●●地域 年齢(学齢): 中学3年生
		事業内容(概要)	教室まで通えない中3生に対して、PCとWi-Fi機器を貸与し、オンライン学習支援を実施している。そもそも学びに向かう姿勢ができていない子に対して、大学生ボランティアが中心となり、生徒が興味を引くオリジナルプログラムを開発。全員の公立高校合格を目指す。
		実績(成果)	・今年度より開始したため、高校合格実績はなし。 ・中3生●名にPCとWi-Fi機器を貸与。オンライン学習支援を計●回実施。 ・大学生ボランティアたちが中心となり、オンライン学習支援プログラムを開発。
	事業③	事業名	居場所・地域ネットワークハブ事業
		対象(地域/年齢)	地域: ●●県●●市 ●●地域/●●地域 年齢(学齢): 小学生～中学生
		事業内容(概要)	何らかの事情で学校に通えない子どもたちが、日中どこにも行く場所がないという声を受けて、教室を夕方まで開放。子どもたちが自分で何をするかを決めて過ごすための居場所を提供。子どものニーズや要望に応じて、地域の他の子ども支援団体とも連携するなどネットワークハブ的な役割を担う。
		実績(成果)	・今年度は、不登校の小中学生のべ●名が参加。 ・子ども食堂などとの連携実績●件。
2. 子ども支援領域以外の事業 (事業内容、対象者、実績) ※ない場合は記載不要	・地域防災活動推進事業 ●月: ●●地域の住民の方向け防災教室(年●回実施) ●月: ●●市役所にて避難所開設訓練を開催 実績: 地元メディア●●の記事(●月●日付)に取り上げられる		
3. 貴団体の強み/弱み	貴団体が本助成に申請する事業を実施する上で、現状認識している強み/弱みを記載		
強み	・地域関係機関との連携 ●●市内での小中学生の学習支援を●年継続しており、低学力の子どもたちの高校進学率が向上したことから、学校や市の教育委員会からも子どもの紹介をいただくなどの連携が生まれつつある。昨年度は市からの視察もあり、広報誌にも掲載された。また、●●市は代表の出身地であるため、地域の子ども支援団体をはじめ、様々な関係機関とのつながりがある。 ・オンライン学習のノウハウ 新型コロナウイルス拡大による休校措置で、近隣の●●大学の学生たちを中心に、オンライン学習支援プロジェクトを立ち上げた。最初はPCなどの機器貸与のみだったが、現在はオンライン学習支援のノウハウが蓄積されてきている。●月には新規の希望者向けにオンライン研修を開催し、●名体制まで増やすことができた。		
弱み	・高校生世代の支援機関との連携不足 当学習会が小・中学生までを対象しているため、卒業した高校生については学習支援が届けられていない。そのため、当学習会の卒業生たちが、経済的な理由により高校を中退してしまわないようにしたい。近隣の小・中学校と連絡や相談ができるように、県内の高校や県教育委員会など、高校生世代の支援機関とも連携が必要であると感じている。		

【3】本助成での活動計画

1. 本助成で取り組む課題	対象(地域/年齢)	地域:	●●県●●市 ●●地域/●●地域	年齢(学齢):	●年生～●年生
	課題認識 ※支援対象者の現状などを記載	<p>これまでの活動や成果をふまえ、本助成で解決したい課題および支援する対象者の状況を記入 ※できるだけ数字等の根拠を用いて具体的に記入ください</p> <p>当学習会はこれまで地域の小中学生向けに学習支援を行ってきたが、中学卒業後は支援が途切れてしまうため、高校を中退する子どもが見られる。高校に進学すると、学校や市の教育委員会など地域のセーフティネットが途切れるため、経済的困窮を抜け出せない大きな要因が待ち構えている。内閣府の調査資料では、生活困窮世帯の高校中退率は●●%とあり、一般家庭に比べて高い。当学習会による地域内の調査では、●●%とより高い数値を示している。</p> <p>主な要因は、①学業不振でも塾等に通えない、②部活等にかかる費用のため友人との付き合いができず孤立、③高校生活にかかる費用を稼ぐためのアルバイトで学校を遅刻欠席、などと経済的理由に起因するものが続く。この高校中退問題は子どもの怠慢や自己責任によるものではなく、家庭単独での解決は難しい。中学卒業後も、地域で支えるべき課題だと取られて、早い段階から介入すべきだと考える。</p>			
	解決の方向性	<p>上記の課題を解決するための取り組みの方向性を記入</p> <p>生活困窮世帯の子の高校中退を防ぐため、中学卒業後に途切れてしまう学習支援を、オンラインで継続できる仕組みや環境を構築する。PCや通信環境については、現中3生に貸与しているものを継続して使用する。また、高校中退者については、低学力やソーシャルスキルの問題があり、すぐに就労が困難である場合が多い。学び直しの上、高卒資格取得を目指すのがふさわしいと考える。そのためには、家庭だけではなく、居場所・食事・生活面を地域で支えていくネットワークが構築できるのが望ましい。</p> <p>これらの課題を解決するため、次の3点の取り組みにより、今後の事業継続・発展の土台をつくっていきたい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高校生向けオンライン学習支援: 中学卒業後も大学生によるオンラインでの学習支援を続けることで、中退予防・進路相談を行う 2. 高校中退者向けのフリースクールの立ち上げ: 中退者の居場所を作り、学び直しによる高卒資格取得を目指す 3. 地域ネットワーク構築: 高校進学後も子どもの自立支援のために、地域の子ども支援機関で支え合うネットワークを構築する 			

2. 申請事業名 ※活動内容をわかりやすく記載	1. をふまえた申請事業の名称を記入 ※申請事業の取り組みの内容がわかりやすい名称をご確認ください。 経済的困窮家庭の高校生世代の中退予防・自立支援を促進する地域セーフティネット事業
----------------------------	--

3. 申請事業テーマ	申請事業区分	AかBのどちらかに <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A. 既存事業強化	<input type="checkbox"/>	B. 新規事業	
	A. 既存事業強化を選択した場合は①～⑤を選んで <input checked="" type="checkbox"/> (複数回答可)	<input type="checkbox"/>	① 子ども支援活動の質向上		<input type="checkbox"/>	④ 事業基盤の強化・業務改善	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 子ども支援活動の普及・拡大		<input type="checkbox"/>	⑤ その他のテーマ	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ ネットワーク構築・政策提言				
⑤を選んだ場合はテーマを記載							

4. 申請事業で目指す状態	1. の「課題認識」や「解決の方向性」に対して、どのような目標感やステップで、事業を積み上げていくのか大枠を記入 (2か年 または 3か年)					
	助成終了後の事業の自立的継続・発展					
	▲ ▲ ▲ 3年目	目指す状態(ねらい)	エビデンスをもとに高校中退予防を地域で制度化			
		実行項目(案)	オンライン学習支援による高校中退率低下や、フリースクールでの学び直しによる高卒資格取得率向上などのエビデンスを示すことで、高校中退予防の制度化を目指す。課題と成果を広めるために、地域の子ども支援団体とともにシンポジウムを開催し、行政との連携を目指す。			
		事業総額(予定):	4,500,000	円	助成申請額:	3,000,000
	▲ ▲ ▲ 2年目	目指す状態(ねらい)	オンライン学習とフリースクールの支援積み上げおよび、高校を中退した子どもを地域で包括的に支援できるネットワーク協議会の立ち上げ			
		実行項目(案)	地域の子ども食堂などと連携して、学びだけでなく、子どもたちの食や生活なども包括的に自立支援ができる居場所を作りたい。地域の子ども支援団体や関係機関とネットワーク協議会を立ち上げ、ひとりの子どもも取り残さない環境作りを目指す。			
		事業総額(予定):	3,000,000	円	助成申請額:	3,000,000
	▲ ▲ ▲ 初年度	目指す状態(ねらい)	高校生向けに、オンライン学習を実施。専門家を交えてプログラムを開発。中退者向けには、居場所となるフリースクールを立ち上げて、地域の関係機関とのネットワーク化をはじめる			
		重点実行項目①	高校生向けにオンライン学習支援プログラムを開発・人材育成			
重点実行項目②		高校中退者向けフリースクールの立ち上げ				
重点実行項目③		地域の関係機関とのネットワーク協議会の設立準備				
【4】-4予算計画より自動反映		1,470,000	円	本助成	470,000	円
3年間総計 (助成申請総額)		6,470,000	円	【助成申請総額】 9,000,000円以内 (3年間)		

【4】初年度の計画詳細

1. 重点実行項目 ※【3】-4. 初年度の「目指す状態(ねらい)」および「実行項目」の詳細を記載	
目指す状態(ねらい) ※自動反映	高校生向けに、オンライン学習を実施。専門家を交えてプログラムを開発。 中退者向けには、居場所となるフリースクールを立ち上げて、地域の関係機関とのネットワーク化をはじめる
重点実行項目① ※自動反映	高校生向けにオンライン学習支援プログラムを開発・人材育成
対象	地域: ●●市 ●●地域/●●地域
※具体的に	年齢(学齢): 高校生
施策の内容 ※規模、回数、連携先などもわかるように記載	<p>1. 高校生向けオンライン学習支援プログラム・支援者マニュアルの開発(4~5月) ・現中3生(●名)向けに実施しているオンライン学習支援を基に、高校生向けのオンライン教材を選定の上、学習支援のプログラムを策定。準備物や流れがわかるマニュアルを作成する。</p> <p>2. 大学生向けオンライン学習支援研修の開催(5~6月) ・●●大学での学習支援ボランティア説明会にて希望者を募り、計●回の研修会を開催。1の支援者マニュアルに沿って・・・</p> <p>3. 地域の生活困窮世帯の高校生に向けた告知(6~7月) ・団体サイトやSNSの告知に加えて、●●市の学校や市教育委員会および、地域の関係機関と連携して、高校生●名に向けて・・・</p>
達成目標 ※数値目標、成果指標、成果物など	<p>1. 高校生向けオンライン学習支援プログラムと支援者マニュアルの完成(5月半ば)</p> <p>2. ●●教室にて、5月(1回)、6月(●回)の計●回開催することで、学生約●名の参加、夏までに●名の登録を目指す</p> <p>3. ●●中学校および市教育委員会の協力をいただき、地域の関係機関での・・・</p>
重点実行項目② ※自動反映	高校中退者向けフリースクールの立ち上げ
対象	地域: ●●市 ●●地域/●●地域
※具体的に	年齢(学齢): 高校中退者および高校未入学者(15~20歳)
施策の内容 ※規模、回数、連携先などもわかるように記載
達成目標 ※数値目標、成果指標、成果物など
重点実行項目③ ※自動反映	地域の関係機関とのネットワーク協議会の設立準備
対象	地域: ●●市 ●●地域/●●地域
※具体的に	年齢(学齢): 小中学生~高校生(中退者含む)
施策の内容 ※規模、回数、連携先などもわかるように記載
達成目標 ※数値目標、成果指標、成果物など

2. スケジュール ※重点実行項目別に、助成期間(2021年4月～2022年3月)の主なスケジュールを記載

	重点実行項目① ※自動反映	重点実行項目② ※自動反映	重点実行項目③ ※自動反映
	高校生向けにオンライン学習支援プログラムを開発・人材育成	高校中退者向けフリースクールの立ち上げ	地域の関係機関とのネットワーク協議会の設立準備
4月	高校生向けオンライン学習支援プログラム開発
5月	オンライン学習支援者向けマニュアル作成
6月	大学生向けボランティア説明会開催 オンライン学習支援研修会の実施
7月	団体SNSでの告知開始 生活困窮家庭の高校生向け告知ピラ作成 ●●中学校・市教育委員会による案内開始
8月	オンライン学習支援開始
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

3. 予算計画 本申請事業の予算を、重点実行項目ごとに記載（記入例を参考に、根拠が明確にわかるように単価・人数・回数等を明記） ※内訳／算定根拠は、実行項目とのつながりがわかるように記載してください（単位：円）				
重点実行項目① ※自動反映		高校生向けにオンライン学習支援プログラムを開発・人材育成		
項目	内訳／算定根拠	(a)費用計	(b)本助成	(c)他の財源
会場賃借料		0		
制作費	団体サイトのページ作成：30,000円、告知ビラデザイン(修正)：15,000円	45,000	45,000	0
印刷費	支援者マニュアル：5,000円(@100円×50冊)、告知ビラ：20,000円(@20円×1000枚)	25,000	25,000	0
広告宣伝費		0		
人件費	大学生ボランティア(有償)：時給1,000円×3時間×10日×4人	120,000	120,000	0
謝礼	オンライン学習支援プログラム開発アドバイザー(●●大学●●先生)：月10,000円×6ヶ月	60,000	60,000	0
旅費交通費		0		
運賃通信費	貸与Wi-Fiルーター通信費：@2,500円/月×8ヶ月×10名	200,000	200,000	0
会議費		0		
図書新聞費		0		
消耗品		0		
備品		0		
委託費		0		
その他①		0		
その他②		0		
その他③		0		
合計	(a):費用計/(b)本助成申請金額計/(c)他の財源計	450,000	450,000	0

重点実行項目② ※自動反映		高校中退者向けフリースクールの立ち上げ			
項目		内訳／算定根拠	(a)費用計	(b)本助成	(c)他の財源
会場賃借料		0		
制作費		0		
印刷費		0		
広告宣伝費		0		
人件費		0		
謝礼		0		
旅費交通費		0		
運賃通信費		0		
会議費		0		
図書新聞費		0		
消耗品		0		
備品		0		
委託費		0		
その他①	保険料	スクール保険(●円×●拠点)	20,000	20,000	0
その他②	車両費	送迎用車両1台購入	1,000,000	0	1,000,000
その他③			0		
合計		(a):費用計／(b)本助成申請金額計／(c)他の財源計	1,020,000	20,000	1,000,000

重点実行項目③ ※自動反映		地域の関係機関とのネットワーク協議会の設立準備			
項目		内訳／算定根拠	(a)費用計	(b)本助成	(c)他の財源
会場賃借料		0		
制作費		0		
印刷費		0		
広告宣伝費		0		
人件費		0		
謝礼		0		
旅費交通費		0		
運賃通信費		0		
会議費		0		
図書新聞費		0		
消耗品		0		
備品		0		
委託費		0		
その他①			0		
その他②			0		
その他③			0		
合計		(a):費用計／(b)本助成申請金額計／(c)他の財源計	0	0	0

重点実行項目①～③ ※自動反映				
予算計画まとめ	項目	(a)費用計	(b)本助成	(c)他の財源
	会場賃借料	0	0	0
	制作費	45,000	45,000	0
	印刷費	25,000	25,000	0
	広告宣伝費	0	0	0
	人件費	120,000	120,000	0
	謝礼	60,000	60,000	0
	旅費交通費	0	0	0
	運賃通信費	200,000	200,000	0
	会議費	0	0	0
	図書新聞費	0	0	0
	消耗品	0	0	0
	備品	0	0	0
	委託費	0	0	0
	その他①	20,000	20,000	0
	その他②	1,000,000	0	1,000,000
	その他③	0	0	0
	合計	1,470,000	470,000	1,000,000

3年間総額	事業総額	8,970,000	円
	うち助成申請額	6,470,000	円

申請時 初年度予算 (c)他の財源の内訳			
下記であてはまるものに☑ (複数可)		内訳	金額(円)
<input checked="" type="checkbox"/>	①行政の補助金		
<input type="checkbox"/>	②本助成以外の助成金	〇〇財団「●●支援助成」	1,000,000
<input type="checkbox"/>	③寄付・会費		
<input type="checkbox"/>	④その他の財源		

申請内容について、お電話等で確認をさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

【任意】2021年度ベネッセ子ども基金 助成事業アンケート

ベネッセ子ども基金では助成事業だけでなく、支援が届きにくい領域における学びのモデルづくりや、助成団体の成果を情報発信するなどの自主事業にも取り組んでいます。今後のご支援に役立てていくための簡単なアンケートにご回答をお願いいたします。なお、ご回答内容は、選考には一切影響いたしません。

	☑	ツール名	サイトURL
Q1. ベネッセ子ども基金の本年度助成の募集告知を、どこで見ましたか？ あてはまるものすべてに ☑を入れてください。 ※複数回答可	<input type="checkbox"/>	ベネッセ子ども基金のFacebookページ	https://www.facebook.com/benessekodomokikin2014
	<input type="checkbox"/>	ベネッセ子ども基金のYouTubeチャンネル	https://www.youtube.com/channel/UChU6G-PuSGA12YHoEBiv-w/
	<input type="checkbox"/>	ベネッセ子ども基金サイト 助成ページ	https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/
	<input type="checkbox"/>	CANPANの助成制度サイト	https://fields.canpan.info/grant/
	<input type="checkbox"/>	ベネッセ子ども基金 経済困難助成募集ビラ	
	<input type="checkbox"/>	NPOセンターの告知やメルマガ	
	<input type="checkbox"/>	知り合いの紹介	
	<input type="checkbox"/>		

Q2. 経済的困難を抱える子どもの課題について、国や行政の支援が十分でないと感じる点や、今後、力を入れていくべきテーマがありましたら具体的に回答ください。 ※いくつでも	
---	--

Q3. これまでに組織や事業に関して、第三者による評価を受けたことはありますか？ある場合は、最新年度と評価機関をお教えください。 ※例： 非営利組織評価センター、各都道府県における福祉サービス第三者評価事業 等	
--	--

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。